

# 資産運用

1994年10月

上場会社の株券がなくなることが決まり、自宅に保管したままの「タンス株券」を持っていく人は注意が必要だ。税金の計算が楽な証券会社の特定口座にタンス株券を入れられるのは年末まで。どのような準備が必要だろうか。

野村証券の自由が丘支店（東京目黒区）が六日に開いた「株券の電子化」に関するセミナー。約二十人の個人投資家は、講師の説明に熱心に聞き入った。終了後には「株券の振替制度とはどんなものか」などと質問が殺到、関心の高さをうかがわれた。

六月に株券の電子化（ペーパーレス化）を義務付ける法律が成立。二〇〇九年度までにすべての上場企業に株券廃止が義務付けられる。決済時間の短縮や株券発行コストの節減を狙っており、個人投資家にとっては株券の盗難・紛失や名義書き換えを忘れるリスク

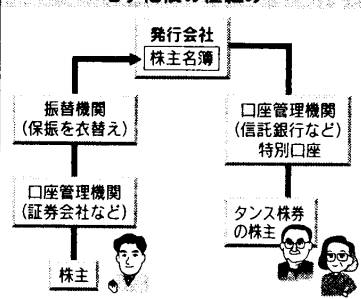
## 対策できてます？

# 株券がなくなる日

### 電子化に伴う主なリスク

- 名義書き換え忘れ  
株券を他人名義のままにしていると、知らない間に、第三者に売却されてしまう恐れがある
- 売りたい時に売れない  
証券会社に口座を作っていないと、売りたいと思ったときに迅速に売れない可能性が

### 電子化後の仕組み



くてもいい。

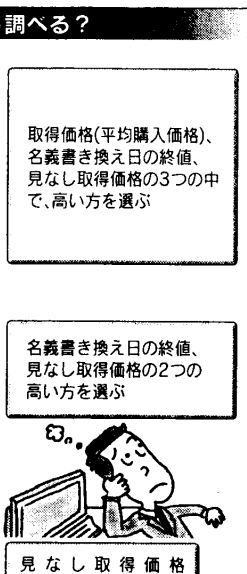
## タンス株券は無効

株券の電子化で、株の保有や譲渡などの情報はすべて新たに発足する「株式振替機関」が管理する。現在、株売買に伴う所有権移転や資金決済を管理している証券保管振替機構（保振）が衣替えして新機関になる計画だ。従って、すでに保振を利用している個人投資家は新たな手続きをしなければいけない。

問題がタンス株券の所有者、自宅に退職していたり、銀行の貸金庫で保管していたりするタンス株券は、証券業界の推定で二十兆—三十兆円に上るとされる。電子化後は、株券に付随している個人株主としての権利を確保できなくなる。

きなくなる恐れがあり、対策が必要だ。株券が自分名義になっているかどうか確認するのが第一歩。通常、株は市場を通じて売買するので、株券の名義が見も知らぬ第三者のままであることは少ない。株券廃止後は、株主としての権利は株式振替機関にある。振替口座に名義が記載されるかどうかで決まる。個人投資家がこの口座を使うには、証券会社などに口座を開く必要がある。ただタンス株主に対しては、新制度移行時に、株式の発行企業が自前で特別な口座を信託銀行に開いてくれる。株券を自分名義に書き換えれば、株券廃止後も株主権が確保され、配当なども受け取れる。書き換え手続きは株券に載っている信託銀行で行ってくれる。

# まず自分名義に書き換え



(注)タンス株を特定口座に入れる場合、見なし取得価格は01年10月1日の終値の80%

「タンス株券は年末までに特定口座へ。株券廃止対策として証券会社が特定口座の開設を勧めている。株券がなくなると特定口座が絶対に必要というわけではないが、特定口座なら自動的に保振を利用することになる上、証券会社が売買損益や税金を計算してくれるので使い勝手はいい。

注意したいのが株の取得価格。特定口座を開くには①実際の購入価格②名義書き換え日の終値③みなし取得価格（二〇〇一年十月一日の終値の八〇％）の三つから取得価格を選ぶことが可能。税金の支払いをなるべく抑えるには上図を参考に一番高い価格を選ぶべきだ。

購入価格は証券会社から受け取る売買報告書を見るのが手取り早い。なくしたら、過去十年分の顧客勘定元帳を証券会社が保管しているので再発行してもら

ているので、いくら自分の株だと株券をみせても効力は無い。この場合、損害賠償を請求するしかなくなる。自分名義への書き換えは不可欠だ。

**機動的売買に支障**  
ただし、名義書き換えだけでは万全とはいえない。信託銀行の口座はあくまで株式を管理するもので、売買には証券会社の口座が必要。株券を売る際は、信託銀行の特別口座から証券会社の口座へ株式を振り替える手続きがいる。

銘柄ごとに信託銀行が異なることも想定され、複数の銘柄を持っていると手続きはなお煩雑になる。株価の動きを見てタイミングよく売ろうと思っていいるなら、証券会社に口座を開いておくべきだ。

トラブルを避けるには保振を利用するのが早道。手続きは証券会社などででき、年千五百七十五円の料金がかかる。多くの証券各社が電子化に関する無料セミナーを開いており、参加して疑問点を解決するのも手だ。

## 特定口座、取得価格に注意

え。銘柄、価格、株数、日時などを記載した日記帳も報告書の代わりになることもある。

従業員持ち株会で自社株を買い、退職時に株券を引き出した際は、平均購入価格や株数を記録した明細書があれば、平均購入価格を取得価格にできる。明細書がないなら持ち株会に再発行を頼めばよい。

名義書き換え日の終値は、株券の裏に書き換え日が記されているので、その日の終値を証券会社に聞けばいい。持ち株会にデータが残っていないなら、株券を引き出したときに本人名義に換わるから、株券裏の日付を確かめた上でその日の終値を調べれば済む。最近では合併・再編に伴い、書き換え日の記されていない新株券も多い。この場合は信託銀行に問い合わせてみよう。